

集約

フィールドのレコードを“,”区切りで一つのレコードとして出力する

◇機能

《集約》は、集約対象フィールドのレコードを“,”区切りで一つのレコードとして出力する機能です。
 また、「連携テーブル」を指定することにより集約結果を連携テーブルに結合して出力することができます。

＜集約テーブル＞

入力担当者
101
102
103
104
105

経理担当者を集約する



集約_入力担当者
101,102,103,104,105

＜連携テーブル＞

売上番号	入力担当者
10001	101
10002	101
10003	102
10004	103
10005	999
10006	105



売上番号	入力担当者	集約_入力担当者
10001	101	101,102,103,104,105
10002	101	101,102,103,104,105
10003	102	101,102,103,104,105
10004	103	101,102,103,104,105
10005	999	101,102,103,104,105
10006	105	101,102,103,104,105

連携テーブルを指定して、入力担当者を集約する

◇メニュー

《加工》-《集約》

◇設定内容

The screenshot shows the '集約' (Aggregation) dialog box with the following components labeled with callouts:

- 1: 集約テーブル (Aggregation Table) dropdown menu, currently set to '経理担当者マスター' (Accounting Officer Master).
- 2: 集約フィールド (Aggregation Field) dropdown menu, currently set to '入力担当者' (Input Officer).
- 3: 集約フィールド選択 (Aggregation Field Selection) table, showing '入力担当者' (Input Officer) with data type 'C'.
- 4: フィールド選択 (Field Selection) button for the aggregation table.
- 5: 連携テーブル名 (Linked Table Name) dropdown menu, currently set to '売上データ' (Sales Data).
- 6: 連携フィールド (Linked Field) dropdown menu, currently set to '売上番号' (Sales Number).
- 7: 連携フィールド選択 (Linked Field Selection) button for the linked table.
- 8: 連携テーブルを対象とした絞り込み条件 (Filtering conditions for the linked table) section.
- 9: 保存先 (Save destination) input field.
- 10: 実行 (Execute) button.
- 11: キャンセル (Cancel) button.

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 集約フィールド (必須)
 - : フィールドの一覧で、集計するフィールドをクリックして選択します。
 - フィールドは、複数選択できます。
 - 選択した順に番号が表示され、表示する列の順番が決まります。
3. フィールドの全選択/全解除
 - : チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。
4. 《フィールド選択》ボタン
 - : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
5. 連携テーブル (任意)
 - : 集約結果を結合するテーブルを指定します。
 - 連携テーブルは操作対象以外のテーブルを指定できます。
6. 連携フィールド (連携テーブルを指定する場合は必須)
 - : 連携テーブルから出力するフィールドを、フィールドの一覧からクリックで選択します。
 - フィールドは、複数選択できます。
 - 選択した順に番号が表示され、表示する列の順番が決まります。
7. IF条件 (任意) : 抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
8. 《式ビルダー》アイコン
 - : 「IF条件」の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。
9. 保存先
 - : 実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。
 - テーブル名の長さは、64文字までです。
 - ファイルの保存先は、プロジェクトが保存されているフォルダの「04_table」フォルダです。
 - 《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトが保存されているフォルダの「04_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです。
10. 《実行》ボタン : 実行します。
11. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

◇操作ログ

OPEN “集計対象テーブル”

OPEN “連携テーブル” **SECONDARY**

COMPILE ON [集計フィールド1] [集計フィールド2] …または**ALLFIELDS FIELDS ON** [連携フィールド1]
[連携フィールド2] …または **ALLFIELDS IF 条件式 TO 出力先**